

授業展開案 高等学校国語「国語総合」

1 テーマ

漢詩のきまり

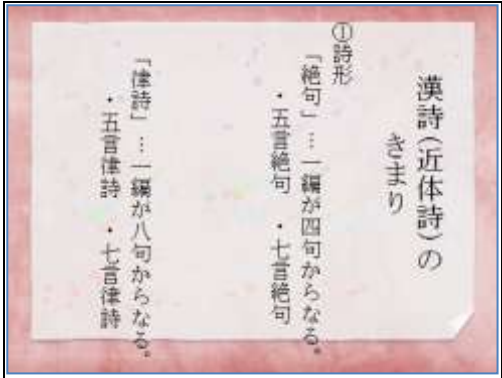
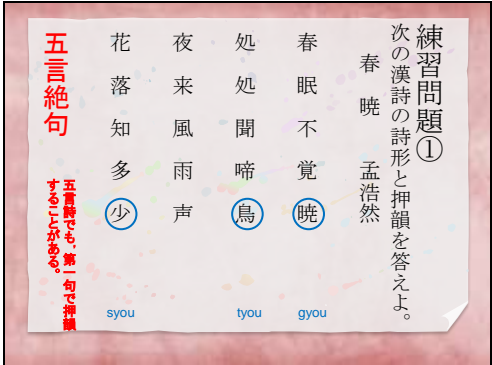
2 I C T 利活用のねらい

電子黒板や学習者用端末を利用して漢詩のきまりについて学び、その後、漢詩の詩形と押韻している文字についての演習問題を行う。繰り返し演習をすることで、漢詩のきまりについての知識を定着させる。電子黒板で一斉学習、学習者用端末で個人学習、というように使い分けが可能である。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

- ①機器：電子黒板，学習者用端末
- ②教材：「漢詩のきまり」(Microsoft PowerPoint)

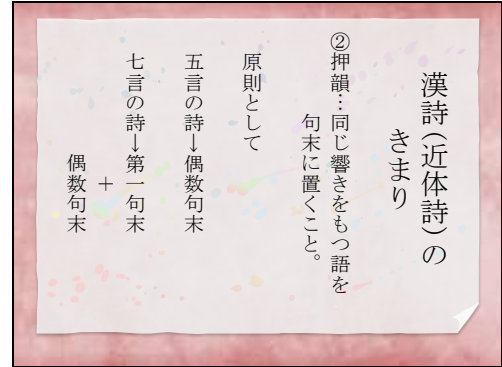
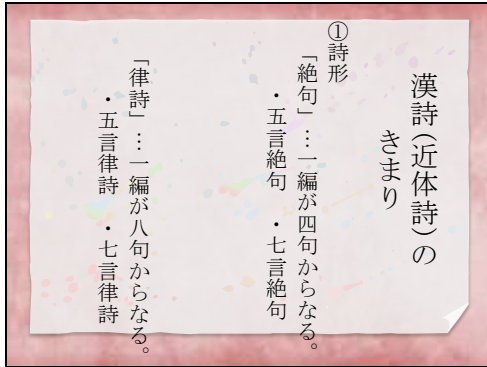
4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>漢詩のきまりについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩形 ・ 押韻 	<p>①説明の補助：電子黒板に漢詩のきまりについて表示する。</p> 
<p>練習問題を解く。</p>	<p>②繰り返し演習：詩形と押韻についての演習問題を行わせる。</p> 

5 ICT利活用のポイント

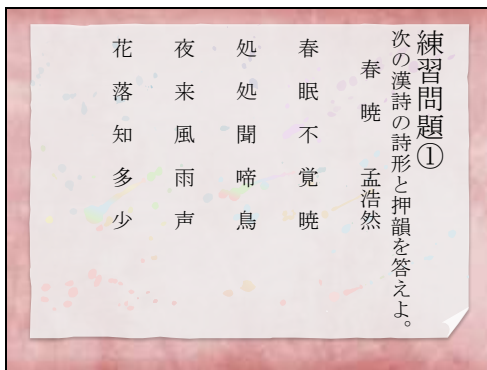
①説明の補助

一斉学習の場合は、漢詩のきまりを電子黒板に表示して、決まった形があることを押さえさせることができる。個人学習の場合は、漢詩のきまりの復習として、自分の知識の定着を確認することに使用できる。



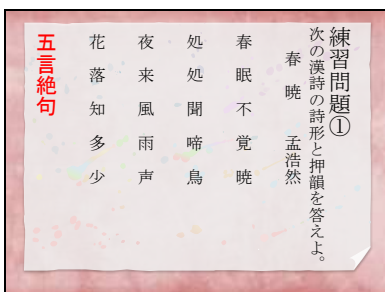
②繰り返し演習

電子黒板や学習者用端末に、練習問題を表示する。

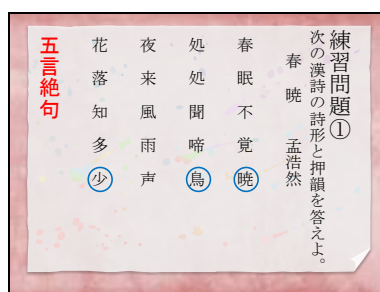


クリックすると、「詩形」、「押韻している文字」、「押韻している文字の読み」の順で、解答が表示される。

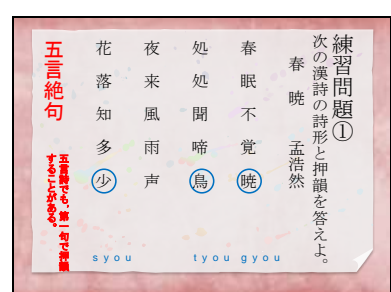
詩形



押韻している文字



押韻している文字の読み



※参考サイト

鹿児島県総合教育センター

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/it-kou/newindex.html>